

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 9 月 26 日 (2019.9.26)

【公開番号】特開 2018-26766 (P2018-26766A)

【公開日】平成 30 年 2 月 15 日 (2018.2.15)

【年通号数】公開・登録公報 2018-006

【出願番号】特願 2016-158903 (P2016-158903)

【国際特許分類】

H 0 4 W 76/10 (2018.01)

H 0 4 W 84/12 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 76/02

H 0 4 W 84/12

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 9 日 (2019.8.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第一の無線通信手段と、

第二の無線通信手段と、

制御手段とを有し、

前記制御手段は、前記第二の無線通信手段を介して定期的手にアドバイズを発信するよう制御し、

前記制御手段は、前記アドバイズに対するレスポンスを前記第二の無線通信手段が受信したことに応じて、前記第二の無線通信手段を介した外部装置との接続処理を開始するよう制御し、

前記制御手段は、前記接続処理を開始した後、前記第一の無線通信手段の通信で用いる通信パラメータを前記外部装置と共有する処理を実行するよう制御し、

前記制御手段は、前記第一の無線通信手段の通信で用いる通信パラメータを前記外部装置と共有する処理が完了した後に、前記接続処理が完了したことをユーザに通知するよう制御し、

前記制御手段は、前記第一の無線通信手段の通信で用いる通信パラメータを前記外部装置と共有する処理が完了するまでは、前記第二の無線通信手段を介して実行でいるサービスを利用できないように制御することを特徴とする通信装置。

【請求項 2】

前記第一の無線通信手段による通信の通信速度は、前記第二の無線通信手段による通信の通信速度よりも速いことを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 3】

前記第二の無線通信手段による通信を確立する場合、定期的に通信を行う間隔を前記外部装置と共有することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の通信装置。

【請求項 4】

前記間隔は前記第二の無線通信手段による通信を確立した後に変更することができることを特徴とする請求項 3 に記載の通信装置。

【請求項 5】

前記第二の無線通信手段を介して前記外部装置と接続する度に前記第一の無線通信手段による通信の確立に用いる通信パラメータをランダムに変更することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 6】

撮像手段を更に有し、

前記第一の無線通信手段を介して接続した前記外部装置からのリモートコントロールを受け付けることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 7】

撮像手段を更に有し、

前記第一の無線通信手段で接続した前記外部装置からの要求に応じて、記録済みの画像を前記外部装置に送信することを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 8】

第一の無線通信手段と第二の無線通信手段とを有する通信装置の制御方法であって、

前記第二の無線通信手段を介して定期的手に入タイズを発信するよう制御する工程と、

前記入タイズに対するレスポンスを前記第二の無線通信手段が受信したことに応じて、前記第二の無線通信手段を介した外部装置との接続処理を開始するよう制御する工程と、

前記接続処理を開始した後、前記第一の無線通信手段の通信で用いる通信パラメータを前記外部装置と共有する処理を実行するよう制御する工程と、

前記第一の無線通信手段の通信で用いる通信パラメータを前記外部装置と共有する処理が完了した後に、前記接続処理が完了したことをユーザに通知するよう制御する工程と、

前記第一の無線通信手段の通信で用いる通信パラメータを前記外部装置と共有する処理が完了するまでは、前記第二の無線通信手段を介して実行しているサービスを利用できないように制御する工程とを有することを特徴とする通信装置の制御方法。

【請求項 9】

前記第一の無線通信手段による通信の通信速度は、前記第二の無線通信手段による通信の通信速度よりも速いことを特徴とする請求項 8 に記載の通信装置の制御方法。

【請求項 10】

前記第二の無線通信手段による通信を確立する場合、定期的に通信を行う間隔を前記外部装置と共有することを特徴とする請求項 8 または 9 に記載の通信装置の制御方法。

【請求項 11】

前記間隔は前記第二の無線通信手段による通信を確立した後に変更することができることを特徴とする請求項 10 に記載の通信装置の制御方法。

【請求項 12】

前記第二の無線通信手段を介して前記外部装置と接続する度に前記第一の無線通信手段による通信の確立に用いる通信パラメータをランダムに変更することを特徴とする請求項 8 乃至 11 のいずれか 1 項に記載の通信装置の制御方法。

【請求項 13】

前記第一の無線通信手段を介して接続した前記外部装置からのリモートコントロールを受け付けることを特徴とする請求項 1 乃至 12 のいずれか 1 項に記載の通信装置の制御方法。

【請求項 14】

前記第一の無線通信手段で接続した前記外部装置からの要求に応じて、画像を前記外部装置に送信することを特徴とする請求項 1 乃至 12 のいずれか 1 項に記載の通信装置の制御方法。

【請求項 15】

コンピュータを請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の通信装置の各手段として機能するための、コンピュータが読み取り可能なプログラム。

## 【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

上記目的を達成するために、本発明の通信装置は、第一の無線通信手段と、第二の無線通信手段と、制御手段とを有し、前記第二の無線通信手段を介して定期的手にアダプタイズを発信するよう制御し、前記制御手段は、前記アダプタイズに対するレスポンスを前記第二の無線通信手段が受信したことに応じて、前記第二の無線通信手段を介した外部装置との接続処理を開始するよう制御し、前記制御手段は、前記接続処理を開始した後、前記第一の無線通信手段の通信で用いる通信パラメータを前記外部装置と共有する処理を実行するよう制御し、前記制御手段は、前記第一の無線通信手段の通信で用いる通信パラメータを前記外部装置と共有する処理が完了した後に、前記接続処理が完了したことをユーザに通知するよう制御し、前記制御手段は、前記第一の無線通信手段の通信で用いる通信パラメータを前記外部装置と共有する処理が完了するまでは、前記第二の無線通信手段を介して実行しているサービスを利用できないように制御することを特徴とする。